

常磐文藝

病中手記

石黒白萩

燃ゆるが如き赤き入日
斜に差したりベットの
病みたる人の夕間暮
木の葉散る蔭寂れたり
灰色に似た心の中
傍の死を見出でたり
さびしさよ汝は病あり
とぶ影のみもわかたぬる
すき間吹く風寒ふして
灰色に似た悲しきを見る
汝の姿を見出でたり
静かなるはなれやの病院の
死の如きたそかれ時
その壁のその窓の戸の
色鈍びて
灰色の如き死はせまり來ぬ
たそがれ早く隅に來て
秋のみが持つ清寂が
悲しき寂しき友をつれ
今日も早く我を包む
淋しき死よ汝は
最と厚く我を包め
以上二年前の秋の思出

夏帽子
洋傘
大谷時計店
平町三丁目 電話一九番

皆様の三井呉服店
涼味溢る、盛夏の御召物
絹小紋縮紗
飛ぶ様に賣れる
東京中形リンネット
是非御用命下さい

加藤營業所
平白銀町電話三三番

白銀町 商店向	十八圓
住宅向	七圓五十錢
仲間町 商店向	十二圓
住宅向	六圓五十錢
應匠町 一階住宅向	八圓
櫻町 住宅向	十八圓
賣地 舊城跡本丸	二九圓
賣地 五丁目表通り	

醬油と味噌

福島縣牛町
鹽屋山崎本店
電話長二七番
振替東京一九七五番
上野東車坂四三
東京支店
電話長淺草五七二八番
振替東京六八三一二番

白米

関内精米所

遠い所からも御遠慮なく電話一六〇番を利用して御用命下さい、敏速にも親切にそして樹目の充分な良質の白米を早速おとすげします

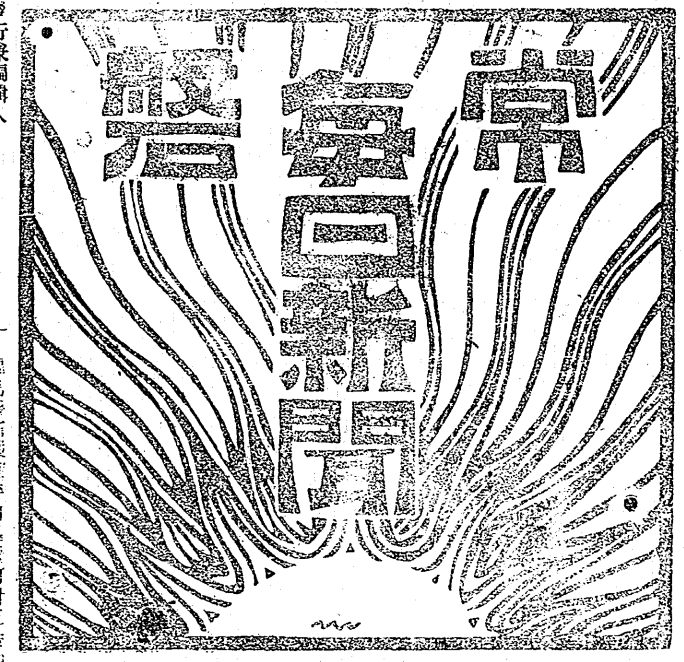
店主 關内 信二郎
平町長橋町三
電話(呼一六〇番)

吉田眼科醫院

滋養 カルミン 明治製菓會社



代理店 マツモトヤ



刊夕日四月八

發行編輯人 川崎文治
印刷所 常磐新聞社
印刷所 常磐新聞社

常磐每日新聞

磐女水泳部通信

(七月三十一日) 丑の日

より天候が變り私等のま
こがれて居た、晴天になり
益々猛練習をし五級四級へ
と白鉢巻に赤線の殖えるの
を樂しみにして居ります中
に日數がだん／＼と後二
日となつたので今日は遠泳
を試みると云ふ山崎先生の
御言葉に皆恐ろしい様なう
れしい様な氣持で自習時間
終るのをまち、自習終りの
鐘がなると直に水着に着か
へ、山崎先生につれられて
舟入に向ひました、舟入に
着くと安積、會津の生徒は

最早來て盛んに練習をして
居りました、それから先生
方が種々の準備にかゝりま
した。會津の生徒は恐ろし
いものか一人もなく、安積
が五人、磐城が十五人卒業
生が一人加り十六人、みん
なの「じつかり」「／＼」
の聲に送られて舟に乗り防
波堤に向ひました。約十五
分たつて、合圖と共に先頭
をたて、順々に泳ぎ初めま
した。先生方の乗つておい
でになる舟四隻は水泳者の
わきを漕ぎ、水泳者のあや
うくない様に警備して下さ
いました、泳ぎの早い方は
十分かゝらないで岸に泳ぎ
つきました。遅い方でも二



看護婦派出

の求めに應ず
平看護婦會
平町南町
電話三〇七番

和久井

漆器 漆器 漆器
平町一丁目
電話四〇五番

ツルヤ

化粧用
化粧用
化粧用
平町四丁目
電話百四十

地主の思惑に... 不快を感じた米商連

▽結局買控へとなり

▽天候も頗る順當で

米價は高いといつた所でもはや絶頂を越えた氣配である夫れに頃日來の氣温は申し分のない程順調なのだから何れの

方面を 見渡しても

豊作の聲が喧しい先月初旬の冷氣は豊作の上に一寸しはいんわいを投げたようではあつたけれど今日に至つては何等の影響もなかつたことが明かになつた今後の恐れるところは例の二百十日ではあるけれど青田の状況からすればその前に大勢が決する

模様で あるこんな

次第なので農村の氣分が明るいはかりでなく一般市場でも所謂豊年來の空氣で不景氣だ不振だとこぼしながらも何所かに一脈の暖かさを示してゐる米價の成り行などもたとへ大地主級の思惑で賣溢りとなつてゐたところで見先にはちたつく豊穰によつて

端境期 の強氣が

らいてゐるから懸て出廻りの止むなきに至るのは餘りに明白となつて來た最もこの頃の正米高では市内米穀商連も何となく地主の思惑に不快を感じたらしく買ひ控えを演じたやうにも見え

鮫川改約打合 鮫川

水力電氣會社社長荒川淳氏は本日午前十時頃柳橋に鮫川江筋組合管理者としての水野郡長を訪問し組合對會社の契約改訂に就いての打合せをした

蚊の多い噂を 町當局の熱心ぶりを

直ちに石油乳劑を撒布

『今年蚊が多い』との噂が喧しいが是れは下水堀が不完全で清潔を保てない爲めであるらしいとは本紙が既報の如くであるが町當局は右の記事に鑑みる處あつて五六の兩日全町に亘つて石油乳劑を撒布する事となつた、其區域は左の如くである

右足を轢断

連結手の奇禍

本日午前十一時平驛構内にて連結手石城郡草野村大字泉崎本田正雄は右足を誤つて轢断され南町酒井醫院に擔ぎ込まれた

一汁一菜で

林間學校を

平第一小學校では十六日から廿日迄石城郡赤井村赤井嶽の藥師堂に林間學校を開くことになつたがその方法は兒童の精神修養に簡易生活の訓練をかねた新しい試みとして一人の食糧白米二升と金一圓内外を持つて一



家庭欄

ナスの料理

▲茄子の胡麻汁 一番初めに胡麻をよく炒つて其れをよく搗つて普通の味噌を加へ、更によく搗り砂糖を加へ、更によく搗り砂糖を加へ、更によく搗り砂糖を加へ

常磐片々

佛の顔も三度、地主の思惑に惱まされて居た米穀商連怒る

一ふんばりウンと怒つて貰ひたい、さうでないといふ度には民衆が怒り出す

小名濱の水産試験場で罐詰や燻製を毎日試験的に製造お除で場員家族の副食物が節約出来るのはウマク考へたものだ

要するにひんしならぬ考へを起した處に妙味がある

カン詰類を

試験場で製造

石城郡小名濱町本縣水産試験場では本年の新事業として漁獲物の處理方法に新しい道を開く爲め全国的にもめづらしい煙りの臭氣を持つた秋刀魚の燻製を初め左の様な罐詰類や副食物を加工試験試賣する事となつた

石城所得税

税額十二萬餘

平稅務署管内の所得稅調査委員會は來る十日頃までに全部の決定を見る筈であるが稅務署調査した原案によると時は人員三千九十四名で百十名の増加を示し税額十

今夜は月満

るけ缺が月満 過ぎ時十 過ぎ時十

ろがだん／＼缺けて行つて七分五厘まで蝕まれてゆく平地方の空で見ると初期は午後七時二十七分で八時五十二分に最高七分五厘食となりそれからまただん／＼回歸して十時十七分に全く終る筈である夜涼みの人々にてうご涼み旁々に見物す

齊藤茂氏 逝

明日葬儀執行

元平警察署長齊藤茂氏は病氣の爲め平町八幡小路三八の自宅にて療養中の處藥石効なく三日午前五時逝去し五日午後二時出棺古鍛冶町松堂院にて葬儀を営むと

一般婦人が

ゼヒ見ねば

母親たるべきならぬ映畫

募集

文藝其他投稿

活動常設有聲座では今晚から三日間「お産の活動寫眞」を公開する筈であるが胎兒が母体に宿つてよりの順序を通俗的に仕組んだ映畫であつて母親は勿論將來母親たるべき一般婦人は通俗醫學の常識涵養として一度は是非見て置く價值がある

減を見て其れを混ぜて汁をつくりまします。今度は茄子を半月形に切り水に浸けて灰汁を抜きぬにあげて水をきつて置きますそして汁の煮立つたとき茄子を入れて煮ます。胡麻からだしが出ますから砂糖以外のもは入れる必要はありません、白胡麻の時には白

教員講習出席

來る

十二日から五日間本縣女子師範學校にて開かれる小學校正教員講習會に石城郡より出席する者左の如し

平町人事

出生

- △南町四五 木下隆直氏二女喜代子
- △長橋町三九 齊藤市太郎氏五男香子
- △南町六一 岡田才四郎氏五女明喜
- △堤ノ内 鈴木徳三郎氏五女テツ子
- △二丁目四九 松本木理吉氏三男正
- △四軒町一五 小野實吉氏(三八)南
- △町三三 五十嵐ヨシ(三五)
- △八幡小路三八 齊藤茂(五八)